

高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 芸術 科目 書道 I

教科: 芸術 科目: 書道 I 単位数: 単位 2

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 2 組

使用教科書: ( 光村図書 「書 I」 )

教科 芸術 の目標:

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		漢 仮	漢	仮						
単元「書写から書道へ」 ◎小・中学校国語科書写で学習した、基本的な知識・技能を確認させる。 単元「様々な書体の変遷、臨書とは」 ◎古典の臨書を通して技法を学び、表現に生かす学習方法について理解させる。	①筆使い、筆順、字形、配列など小・中学校の国語科書写で学習した内容の確認。 ②漢字には五つの書体があること、それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴の理解。									8
「文字の造形を学ぶ【楷書】」 単元「あなたは、どの楷書が好き？」 ◎日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。	・A～Dのグループの文字を比較し、自分が好きなものを選ぶ。 ・グループ討論									4
単元「唐の四大家に学ぶ楷書の基本」 ◎楷書の古典「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」4つの古典鑑賞、臨書									10
文字の造形を学ぶ【行書】 ◎行書の古典「蘭亭序」「争坐位文稿」「蜀素帖」「蜀素帖」「風信帖」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	「蘭亭序」「争坐位文稿」「蜀素帖」「風信帖」4つの古典鑑賞、臨書									10
文字の造形を学ぶ【草書・隸書・篆書】 ◎草書、隸書、篆書の古典「真草千字文」「曹全碑」「泰山刻石」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	「真草千字文」「曹全碑」「泰山刻石」3つの古典の鑑賞、臨書									8

